

HAKUOH JHS NEWS

白鷗大学足利中学校新聞 -vol.77-



発行所／白鷗大学足利中学校新聞委員会 足利市伊勢南町4-3 TEL.0284-42-1131

二十年後の自分

二年生が26の事業所で「職場体験」

六月十日から十二日までの三日間、26の事業所に協力いただき、二年生五十八名が職場体験に組みました。慣れない仕事で戸惑いながらも、三日間やり遂げた充実感に生徒たちの顔は輝いていました。今回の学習で一回り大人になった生徒達の感想を一部紹介します。ご協力いただいた事業所のみなさん、ありがとうございます。

温かな気持ち

矢田 真知子

事業所の入り口に立った時、極度の不安と緊張で足が一步を踏み出せませんでした。私の事業所は養護老人ホーム福寿荘という、経済的に一人で生活のできなくなった高齢の方が入所して、食事の配膳など、自分たちでできるだけのことをやるという少し特別な老人ホームでした。

印象に残っていることは、初日に入所者のほうから話しかけてくださったことや、事業所の方々がとても親切だったこと

お客さんの目線

一瀬 貴子

私は、テニス、バドミントン用具店「スマッシュ」に行きました。水曜日は定休日だったので、二日間働きました。私がこの二日間で学んだことはたくさんあります。その中でもまず一つは掃除のようなお客さんからは見えない仕事も、お客さんの目線にたつてしっかりと徹底的にやることです。



社長には「掃除には性格が出る。十人来店して一人でも汚れに気がついたらだめなんだよ。」と言われ、外国に初めて寺を建てたお坊さんの話も聞きました。私は最初掃除を重要視していなかった

小さな命との触れ合い

角田 陽亮

僕は、栃木産婦人科医院に職場体験に行かせてもらいました。栃木医院に行つたわけは、自分の生まれたところだったからです。職場体験に行つて印象に残ったことがあります。一つ目は、サージです。栃木医院では患者さんへのシャンプー、もぐもぐパラダイスというイベントをやつていました。もぐもぐパラダイスというのは、三か月



努力すれば結果は出る

鈴木 遥人

僕が職場体験に行った場所は、足利市教育委員会の文化課です。仕事は、遺跡発掘をして出土品を調べることに、出土品を洗ってきれいにすることがありました。遺跡発掘では埴輪のかけらがよく出ます。ずっと掘り続けるので、汗で体がびしょりになります。ですが、掘っていく途中に埴輪のかけらが時々見つかり、探すのに夢中になるので、あまり疲れは感じませんでした。一日目、二日目と小さなかけらしが見つかりませんでした。三日月にやっと円筒埴輪の大きなかたまりを

見つけることができました。ついに見つけたという喜びがあふれました。コツコツ努力していけば、いい結果を出せることを体験して学べました。これから仕事をするときも、それぞれの仕事の面白さを感じながらやっていきたいと思っています。

二十年後の自分

星野 裕希

僕は職場体験で二日間足利税務署に行ってきました。足利税務署では窓口係の体験、事務、送られてきた書類の整理、名刺の受け渡しなどいろいろなかでも印象に残ったのは二十年後の自分の申告書作りです。それは国税庁のホームページにあるもので、自分の年を二十歳足すために生年月日を二十年引いて入力し、収入や勤め先、家族構成を決めると、例えば累進課税はいくらかかるかなど自分の税金が分かるものです。



人の役に立つ仕事

坂上 萌香

私は、足利第一病院へ職場体験に行きました。初日は病院が休診日だったので、学校で奉仕活動をしました。二日目からは、病院のいろいろな場所を見学し、普段できないような体験をたくさんしました。その中でも、一番印象に残ったのは、薬局での薬の調査でした。効き目の強さが違う二種類の軟膏を混ぜ合わせ、患者さんに合ったものを作りました。作り終わって、説



明していただいたいた薬剤師の方に、「みんなが作ってくれたものも、患者さんのもとに行きます。」と言われた時はとても嬉しかったです。その患者さんに合ったものを作らなければいけないので大変ですが、人の役に立つ仕事は、やり甲斐があるということを実感しました。今回の職場体験で、医療関係の仕事に興味を持ちました。皆さんの貴重な体験ができて、良かったです。

模擬試験

9月13日(土) 8:40~
会場：白鷗大学足利中学校
対象：小学6年生
無料で受験でき、本校への合格の可能性を知ることができます。

学校説明会

(推薦入試の説明もあります)

- 第1回 7月26日(土) 10:00~11:30
会場：白鷗大学足利高等学校マルベリーホール
- 第2回 10月18日(土) 13:30~15:00
会場：白鷗大学足利中学校

オープンキャンパス

8月23日(土) 10:00~12:00
会場：白鷗大学足利中学校
授業見学が自由にでき、進学相談コーナーもあります。お気軽においでください。

授業見学は10:10~11:00となります。

勉強に対する考えは昔から変わらない

一年生が総合「郷土学習」で徒歩で校外へ

足利学校「学規三条」

岩下 あゆむ

く、在学期間も自由だったそうです。校則は上杉憲実が定めた「学規三条」があったそうです。

僕は学校の総合の授業で足利学校に行きました。足利学校はボランティアガイドがついて色々な事を一から教えてくれました。前に何回か行ったことはあったけれど、詳しい説明などをしてもらったことはなかったのです。最初に学校造りや重要な建造物を、その次に学費や先生、授業の内容や時間割、校則や在学期間などの説明をもらいました。その説明だと学費は

なく、授業の内容は儒学が中心で易学や兵法などもやっていたそうです。時間割は学費と同じく



見て僕は、今も昔も勉強に対する考えはあまり変わらないと思います。

織姫神社の階段

勝又 俊彦

六月十日、白鷺中学校の一年生五十二名で足利の郷土学習ということで織姫神社に行ってきました。織姫神社は千二百年以上の歴史をもつ足利織物の守り神であり、織姫山の中腹に建つ朱塗りの

神殿は足利の名所のひとつともなっているそうです。織姫神社の階段は二二九段あり、少しきつかったのですが、友達と一緒に楽しく歩いて、景色が良いせいか、思ったよりすぐに登り切れました。登っていた階段のと



ころに、階段トレーニングは……と書かれています。足利市に根付いた神社だなあと感じました。今後、ここに階段トレーニングに来ようかなと思います。学校の郷土学習で来たわけですが、「よき人、健康、知恵、人生、学業、仕事、経営」と縁結びしてくれるそうなので個人的にお参りをしてきました。今度来るときは階段下にあるというお水も汲んでみたいです。

一学期を振り返って

つくばエクスプレスに参加して

三年 坂上 雅哉

僕たち、中高一貫教育コースの三年生は高校生と一緒に、六月十七日につくば市へ行ってきました。つくば市というところには、科学万博が在任していたり、科学万博が開かれた都市として有名なことから、どのような施設が見学できるか期待していました。

最初に、「地図と測量の科学館」へ行き、様々な地図の歴史や測量についての展示を見て楽しみました。次に行った「サイエンススクエアつくば」では、最先端技術を使った工業製品を見たり体験したりしました。特に印象に残ったのは口



先端技術に触れ、今何が研究されているかということを知ることができ、とても有意義な一日でした。

足利くるみ幼稚園での保育実習

二年 小暮 ひろか

六月二十四日に私たち二年生は、家庭科の授業として足利くるみ幼稚園で保育実習をさせていただきました。ここは二週間前に職場体験で三日間を過ごしたばかりだったので、園児たちが覚えてくれてうれしかったです。また同じクラスの担当になったので親しく職場体験の時に仲よくなった子が「また来てね。」と言ってくれたことが心に残りました。この実習では前回の経験を生かして行動できてよかったです。

歯の大切さ

歯の大切さ

一年 渡辺 勇太

今日の歯みがき教室では歯の大切さや歯みがきの正しいやり方を勉強しました。オレオを食べた後の染め出しではほとんどの歯が真っ赤になりました。これは食べカスやそれ以外の細菌が歯の表面に残っていることを表しています。食べるために必要な歯は、力を入れる時や会話をする時に必要不可欠です。これから今日勉強したことを生かして丁寧に磨き、「虫歯ゼロ」を続けていきます。



オーストラリアでの異文化体験

3年 長井 佑樹

私はこの海外研修旅行を通して学んだことが大きく分けて三つあります。一つ目は文化の違いです。オーストラリアは多文化主義であるためこれといって決まった文化はないのかもしれませんが、私たちのホームステイ先では日本とは違って毎日のようにお米を食べることは

なく、ジャガイモやタイ米、パスタなどの様々な主食が見られ、味噌汁や寿司などの日本食も普通に食べられていました。特に寿司はヘルシーでおいしいとのことで大変ポピュラーでした。また道路にはスピードランプが多く設置されていたため住宅街などをすこいスピードで駆け抜けていくような車は滅多に見られませんでした。信号も変わっていて道路の標識も私たちがホームステイ先は日本では考えられない土足文化で、海に行ったら帰りに砂や海水を多く含

んだ水着を着たま土足で家に入るなど日本では許されることが普通に行われていました。後で家にそういう状態のまま入っているのか聞いたところ、あたりまえのように入っていることは気にしていませんでした。他にも外出してきた靴でそのまま過ごしたり、風呂上りに裸足で生活していたり、外用のサンダルで生活していたり、特に靴などには気を払わないそうです。また休日の過ごし方にも違いがあるように思いました。オーストラリアの人たちは日本の人たちと違い家でゆっくり過ごすという



より家族全員で外で体を大きく動かすことが多くいように思えました。ホームステイ三日目で訪れたキャンプ場は多くの人で賑わい、家族みんなでサッカーなどで体を動かしている光景が見られました。

二つ目は豊かな自然です。エアーズロックやホームステイ先で行ったキャンプ場を始め日本ではなかなか味わうことのできない雄大な景色を見ることができました。オーストラリアの街並みは日本と違い緑が大変多く、住宅地でも木々が立ち並んでおり、シドニー市内でも同様の印象を受

大変苦戦しましたが、私たちのホストファミリーはたいへん優しく、気さくな方だったので言葉が出ずに固まっていたときは積極的に向こうから話しかけてくれたり、英語について教えてくれたりしたので大変助かりました。しかし、日本語ほど上手に自分の言いたいことを相手に伝えることはできませんでした。そんな中で学んだ知識や体験は非常に貴重で価値のあるものでした。そして私はこのホームステイの体験を上手に将来へ生かしていきます。僕は匂い袋づくりをやったよかったです。一つは自分がつくった匂



匂い袋づくりボランティア

一年 板井 亮太

